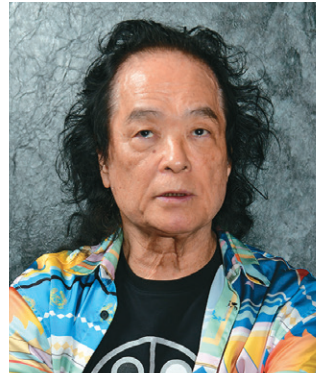


第8回 越智文雄 meets 喜納 昌吉

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、エネルギー・防災・地域経済などの幅広いテーマで安心安全な未来に向けた「気づき」を発信する連載「みらいを灯す」第8回のゲストは「ハイサイおじさん」や「花〜すべての人の心に花を〜」を生んだ音楽家・平和活動家の喜納昌吉さんです。



写真/村山望

HOST

越智 文雄

Fumio Ochi

エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局局長。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表、日本除菌連合会長、(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。

いつか中国や台湾を巻き込んで大きな祭りをやりたい。

音楽で国際平和を実現する！

越智 私は全国を回る中で月に1〜2週間ほど沖縄に滞在していますが、沖縄の文化についてはまだまだ勉強中です。でも喜納先生の歌『花〜すべての人の心に花を〜』はよく存じておりました。

喜納 あの歌は1964年の東京オリンピックの時の感動が元になってきた曲なんです。昨年は沖縄で日中平和友好条約締結45周年を祝い「2023沖縄中国音楽祭」が開催されましたが、そこでも招待されて『花』を歌いました。昨年は北京に行き、現地の学生や研究者と交流しました。2019年には韓国と北朝鮮の間にある板門店で歌いました。

えてくれたと僕は思いましたね。
越智 それはすごいですね。
喜納僕は北朝鮮に行ったことはないけど、いつか板門店で祭りをやりたいと思っています。中国も説得してね。それには台湾の問題も絡んでくるから、台湾も巻き込んで文化交流をしたいと思います。

越智 先生はアジアを平和にする役割を担われているんですね。
喜納西村峯満さんという「世界から戦争をなくすには世界連邦を作るしかない」という考えを持っていらっしゃる方がいます。その方はノーベル平和賞の受賞者6人を自分のお金で日本に招き、平和についての会議を開いた方なんです。この方が沖縄から平和に向けたムーブメントを起こそうとしています。それにはインフルエンサーとミュージシャンが先頭に立った方が効果的だということ、

越智 板門店って、両国の兵士が警備しているあの最前線ですか？
喜納 そうですね。事前にあちこち許可を取るが大変でした。日本や韓国、国連はOKを出したけど、北朝鮮が最後までOKしなかった。でも、飛行機で現地まで行ったら、到着したとたんにOKが出たんです。そして板門店の真ん中に行ってみたら、いつも北朝鮮の兵士が警備しているところに誰もいない。北朝鮮が歓迎



昨年10月に開催された「2023沖縄中国音楽祭」で歌う喜納さん(右)

喜納 越智社長は沖縄に会社を？
越智 今は支社を置いていますが、近くは沖縄法人を作ろうと思っています。ます。
喜納 いつか一緒に沖縄で音楽祭を作りましょうよ。野外フェスみたいなものを。
越智 いいですね。私は北海道電力で勤務していた時代に広報課長を務め、また「北海道150年物語プロジェクト」では実行委員長をやったお祭り男なので、イベントプロデュースには自信があります。
喜納 沖縄には本土の企業が資金を出しているイベントがいろいろありますけど、ハーリーやエイサーなど

沖縄の伝統的なイベントにはあまりお金が回らないんですよ。そうしたものにお金をかけた方が観光にも役立つと僕は思っているんですが。何もないところに高射砲のように火花をポンポン打ち上げても、風情がないと僕は感じますね。
越智うちの会社は中城村にLED機械を寄贈し、中城城跡のライトアップに使ってもらっていますが、そこは伝統ある史跡をユニークな形で活用していますね。
喜納中城村は護佐丸で村おこしをしよう頑張っている若い連中がいるんですよ。今度紹介しますから会ってみてください。
越智中城城跡で夜間ライブみたいなことができたらすごく面白いと思いますよ。ぜひ手伝わせてください。
喜納僕が護佐丸の歌を作りますから。一緒に夢を作っていきますよ。

僕にも声がかかっているところです。
越智 それはすごい。先生ならいざ世界連邦のアジア支部大使みたいな働きをされるかもしれませんね。

LEDの運命を握る中国

喜納 越智さんの本業は？
越智 「あかりみらい」という社名の通り、日本の灯りを護る仕事をしています。LED照明に使われる発光ダイオードの原料であるガリウムは、98パーセントが中国で生産されていることを存じですか？
喜納 それは知りませんでした。日本では生産できないんですか？
越智 できないんですよ、これが。残りの2パーセントはカザフスタンとウクライナにしかありません。水銀水俣条約によりあと3年で蛍光灯が使えなくなるので、照明のLED化は全国的に急務です。さもなくば尖閣問題などで中国との関係が悪化した場合、一般家庭はもちろん学校や病院、企業や公共施設も電気がつかないということもなりかねません。

喜納 ガリウムは世界が中国に依存しているんですね。
越智 そうなります。あと3年という急な話でなければ、普通に貿易すればいいだけなのですが、それは平和的な国交が前提となります。政

治の力も大事ですね。沖縄の灯りも護らなくては。
一緒に音楽祭を作りましょう



昨年6月の音楽活動50年記念ライブで『花〜すべての人の心に花を〜』を熱唱する喜納さん

みらいを灯す

GUEST

喜納 昌吉

Shokichi Kina

音楽家/平和活動家

1948年、越来村(現・沖縄市)生まれ。父は琉球民謡の巨匠、喜納昌永。70年代にバンド「喜納昌吉&チャンブルーズ」を結成、沖縄ポップスの立役者となる。80年発表の『花〜すべての人の心に花を〜』は世界的なヒットソングとなった。政治家、平和活動家としても知られる。



対談の会場となったホテルコレクティブ(那覇市)

株式会社あかりみらい

akarimirai

お問い合わせはこちら
☎0120-760-814 **あかりみらい** 検索

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

【沖縄支社】沖縄県那覇市久茂地2-19-5
【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階
【東京本社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大業ビル7階